

世界に羽ばたけるソフトウェア品質 技術者の人財育成支援サービス ～JUSEが考える、人、企業、社会が成長する新たな価値提供～

一般財団法人日本科学技術連盟
品質経営推進センター
品質経営・SQiP・MSグループ

<https://www.juse.or.jp/sqip/>

設立：1946年5月1日（設立から78年）

目的：最新の経営管理技術の開発と普及を通して豊かな社会を創生する。

事業：「品質」「品質管理」を中核とした普及活動、社会の未来課題を達成するための教育事業の展開

- ◆教育・研修（セミナー）、研究会
- ◆表彰（デミング賞、日本品質奨励賞）、資格認定
- ◆QCサークル大会、シンポジウム、フォーラム
- ◆ISOマネジメントシステム審査登録
- ◆広報・出版
- ◆海外事業・国際活動・国際交流等

1980年：SPC（Software Production Control）を発足

目的：日本的品質管理（TQC、TQM、QC）をソフトウェア生産に適応するための調査、研究、普及を行い、日本のソフトウェア製品の品質向上と効果的開発手法、方法論の確立をするために発足。

2007年：SPCからSQiP（**S**oftware **Q**uality **P**rofession）へ呼称を変更、更なる活気あふれる活動に。

目的：SPC時代の理念から変わることなく、更なる日本的品質管理（TQC、TQM、QC）をソフトウェア産業へ適応するための調査、研究、普及を行うため。



Software **Q**uality **P**rofession

聖職者、医師、弁護士に次ぐ、
第4の「Profession」として位置付けたい！

◇これまでのビジネスモデルでは立ち行かないのはわかっているが、なかなか転換ができない

近年、企業を取り巻く環境は目まぐるしいスピードで大きく変化しています。顧客の製品に対するニーズをとらえ、それをいち早く開発する事を得意としてきた日本の企業では、新興国の技術レベル向上により、製品の差別化が困難になり、また価格競争に巻き込まれることにより収益性低下や経営の継続力低下が課題となっています。特に、市場規模が急拡大する国々では、これまで日本で培ってきたビジネスモデルそのままでは成り立たず、これらの国に合ったソリューションへの変革が求められています。

このような状況下においては、これまでの商品の生産・販売を通じた顧客の満足度向上活動だけにこだわらず、新たな顧客価値の創造をめざし、顧客の懐に入り込み、顧客と同じ視点で顧客の問題解決（ソリューション）をより積極的に提供することにより、付加価値を提供する、いわば「サービスを提供するビジネス」への転換が更に必要となってきます。

これに対応するため、日本企業でも「ビジネスソリューション」という合言葉のもと、顧客満足度を向上する取組みが散発的に行われてきましたが、成果の創出まで至っているケースは少ない、と言わざるを得ないのが現状であります。

<[企業価値向上経営懇話会 趣意書](#)より>

◇日本の強みと言われてきた「品質」が狭義に捉えられ、主に製造業における品質問題が後を絶たない

日本の強みと言われてきた品質においても、品質管理の対象を単に狭義の品質としてとらえ、真の「品質経営」に進化させるまでに至らないまま今日を迎えております。

経営トップにとって「品質」は重大な経営の関心事と認識されなくなり、その結果、“品質危機”と言われるほど、企業の不祥事や品質問題が相次ぐという由々しき事態が散見されております。

これは、長年にわたって築き上げた品質ブランドを一瞬にして失墜させかねないものであることは言うまでもありません。

<[企業価値向上経営懇話会 趣意書](#)より>

**「品質教育」こそが
日本の産業競争力をより高め、
世界に負けないための
最大の武器になる。**

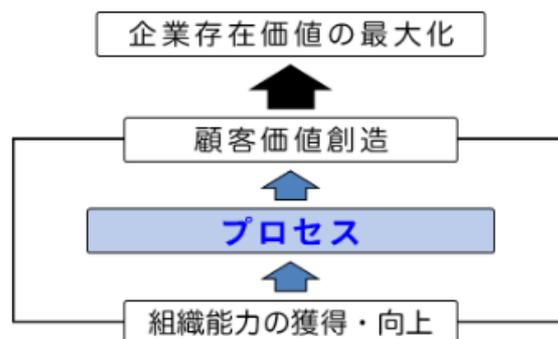
令和大磯宣言2023

2019年令和大磯宣言では「顧客価値創造」と「組織能力獲得・強化」を両輪として、企業存在価値の最大化することの重要性が発出された。

ここで、「顧客価値創造の構想」と「その実現を目指して事業が発揮すべき組織的機能」の間に、極めて重要な着眼すべきことがある。

それは、「プロセス」。プロセスには「顧客価値創造」を行うための手順という意味と、獲得した組織能力を発揮する場として意味がある。

さらにこのプロセスは、事業戦略策定のためのプロセス、事業を遂行するための機能間連携プロセス、具体的業務指示のためのプロセスの3つのレベルから構成される。



TQMの真髄は徹底したプロセス志向。これからのTQMが着眼すべきは、組織を挙げて、全員参加で、プロセスの階層を創り込んでいくことである。

2023年12月2日 第116回品質管理シンポジウム 参加者一同

品質管理シンポジウム：<https://www.juse.jp/qcs/thanks/116/>

企業価値向上経営懇話会：https://www.juse.jp/konwakai/kaisai_jisseki/kaigou18/

**品質にしっかりと取り組めば、組織は賢く、強く、幸せになれる
品質経営が有効である！品質なくして企業の存続なし！**

◇品質にしっかりと取り組む

- ソフトウェアを通じて、顧客に提供する価値を考える。
- 価値を提供し続けるために、組織的に必要な活動をデザインする
 - ・対象とするニーズを定める／新たに掘り起こす
 - ・ニーズを満たす製品・サービスの品質要素を計画する（広義の品質）
 - ・品質要素の実現度合い（狭義の品質）を保証するプロセスを確立する。
 - ・品質要素の実現に係る固有技術と、管理や品質保証に係る技術を進化させ、価値提供のスピードを加速する。
 - ・提供した価値に対する顧客満足の度合いを評価する。
 - ・「事実に基づく管理」を主軸にして、プロセスを継続的に改善する。
 - ・この過程で得られた知識を、組織的に活用する。

◇組織が賢く、強く、幸せになる

- 価値提供の結果 / 自社独自の経験 / 失敗に学び、組織が賢くなる。
- 組織独自の知識・技術（固有技術） / 継続的改善能力は、競争優位の源泉である。
- 賢く強く組織は、幸せになる。

5. SQiPの人材育成・品質教育

「すべての技術者に品質技術を！」

企業（人）の問題解決や課題達成を第一に考え、ソフトウェア品質知識体系ガイド SQuBOK Guide を軸にセミナー、研究会、シンポジウム、資格試験等、幅広く事業展開。

<SQuBOK Guide 網羅範囲>

基礎・実践

●研究会：

ソフトウェア品質管理研究会
ODC分析研究会

実践（アウトプット）

●シンポジウム：

企業の成果・事例発表
相互研鑽・情報交流の場

●国際活動

基礎（インプット）

●セミナー：

品質マネジメント概論／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアメトリクス／ソフトウェアテスト／プロセス改善／要求・仕様／派生開発／アジャイル／PM・PJ等

●eラーニング／オンデマンド：

品質マネジメント概論／ソフトウェア品質技術／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアテスト／アジャイル開発・マネジメント

評価（アウトプット）

資格試験

…知識・技術の適格性の証明

5. SQiPの人材育成・品質教育

「すべての技術者に品質技術を！」

企業（人）の問題解決や課題達成を第一に考え、ソフトウェア品質知識体系ガイド SQuBOK Guide を軸にセミナー、研究会、シンポジウム、資格試験等、幅広く事業展開。

<SQuBOK Guide 網羅範囲>

基礎・実践

●研究会：

ソフトウェア品質管理研究会
ODC分析研究会

実践（アウトプット）

●シンポジウム：

企業の成果・事例発表
相互研鑽・情報交流の場

●国際活動

基礎（インプット）

●セミナー：

品質マネジメント概論／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアメトリクス／ソフトウェアテスト／プロセス改善／要求・仕様／派生開発／アジャイル／PM・PJ等

●eラーニング／オンデマンド：

品質マネジメント概論／ソフトウェア品質技術／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアテスト／アジャイル開発・マネジメント

評価（アウトプット）

資格試験

…知識・技術の適格性の証明

5. 研修／セミナー／オンデマンド

● 集合セミナー：14種類23コースを実施（予定）



	名称	日数	開催場所
1	ソフトウェア品質技術者初級セミナー【JCSQE資格試験対応】	2日	ライブ
2	ソフトウェアテスト分析手法 実践セミナー	2日	ライブ
3	JSTQB認定ソフトウェアテスト技術者－Foundation Levelトレーニングコース	3日	ライブ
4	データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー（基礎編）	1日	ライブ
	データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー（技法編）	2日	ライブ
	データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー（基礎編+技法編）	3日	ライブ
5	実践！ソフトウェア品質保証のためのメトリクス活用セミナー	2日	ライブ
6	実践！ソフトウェア品質向上のための技術者セミナー	6日	ライブ
7	【リニューアル】 実践！管理者のためのソフトウェア品質マネジメントセミナー	2日	ライブ
8	【リニューアル】 実践！プロジェクトマネジメントセミナー	2日	ライブ
9	実践！トラブルプロジェクト(実例)に学ぶセミナー	0.5日	ライブ
10	実践！仕様化（USDM）セミナー	2日	ライブ
11	実践！派生開発プロセス（XDDP）セミナー	2日	ライブ
12	品質重視のアジャイル開発セミナー（概要編）	1日	ライブ
	品質重視のアジャイル開発セミナー（実務編）	1日	ライブ
	品質重視のアジャイル開発セミナー（概要編・実務編）	2日	ライブ
13	AIソフトウェアの品質保証セミナー	2日	ライブ
14	ソフトウェア不具合改善手法 ODC分析の基礎セミナー	2日	ライブ

5. 研修／セミナー／オンデマンド

- オンデマンド/eラーニング：5種類を公開中！

	名称	期間	提供方法
1	基礎から学ぶソフトウェア品質マネジメントセミナー	1か月間	動画
2	基礎から学ぶソフトウェアテストのマネジメント・技法	1か月間	動画
3	基礎から学ぶソフトウェアレビューのプロセスと欠陥検出テクニック	1か月間	動画
4	基礎から学ぶ品質の観点からのアジャイル開発入門	1か月間	動画
5	【eラーニング】ソフトウェア品質技術者初級セミナー	3か月間	動画

オンデマンド/eラーニングは、個人受講はもちろん、
各社の教育プラットフォームと連動し、教育効果を図ることも可能！



5. SQiPの人材育成・品質教育

「すべての技術者に品質技術を！」

企業（人）の問題解決や課題達成を第一に考え、ソフトウェア品質知識体系ガイド SQuBOK Guide を軸にセミナー、研究会、シンポジウム、資格試験等、幅広く事業展開。

<SQuBOK Guide 網羅範囲>

基礎・実践

●研究会：

ソフトウェア品質管理研究会
ODC分析研究会

実践（アウトプット）

●シンポジウム：

企業の成果・事例発表
相互研鑽・情報交流の場

●国際活動

基礎（インプット）

●セミナー：

品質マネジメント概論／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアメトリクス／ソフトウェアテスト／プロセス改善／要求・仕様／派生開発／アジャイル／PM・PJ等

●eラーニング／オンデマンド：

品質マネジメント概論／ソフトウェア品質技術／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアテスト／アジャイル開発・マネジメント

評価（アウトプット）

資格試験

…知識・技術の適格性の証明

5. ソフトウェア品質管理研究会

- ソフトウェア品質の分野で最も歴史のある研究会
 - 継続は力なり！今年度で40年目を迎えました！
 - ソフトウェア品質に関連した「教育・学習」と「事例研究」を1年間継続して行う。高度な技術の習得と問題解決力・実践力の向上を図ることができます。
 - 活動期間：2024年5月～ 2025年3月（例会・全9回）
 - 参加費：326,700円（一般） / 297,000円（会員） *税込
- ※継続参加企業の特典：311,850円（一般） / 282,150円（会員） *税込**



各分野第一線の専門家による**特別講義**
経験豊富な講師陣による強力な**分科会指導**
研究員との**情報交換および相互研鑽**

- ネットワークづくりに最適です！
- 様々な分野の業種から、多様な立場の方が参加し、課題を持ち込み、それを議論できる。
- 総勢100名を超える参加者
- 当該分野の第一人者である講師の指導を受けられる
- 他社の技術者との人脈構築 ⇒ 情報収集 ⇒ ブラッシュアップ ⇒ 成長
- 「研究員と研究員」、「講師と研究員」をつなぐ、場の提供、ネットワーク作りへのお役立ち

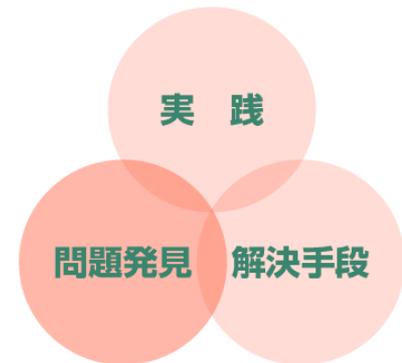
過去の参加企業一覧(2010年~2023年)

240社以上の企業に参加いただいています！

㈱IHI
㈱IHI エスキューブ
アイエス情報システム㈱
アイエックス・ナレッジ㈱
㈱アイシン
アイシン・コムグループ㈱
アイシン精機㈱
アイホン㈱
旭化成㈱
旭化成エレクトロニクス㈱
㈱AGEST
アズビル㈱
㈱アドバンテスト

㈱シーイーシー
GEヘルスケア・ジャパン㈱
㈱CSK
㈱JSOL
㈱システムソフィア
㈱システムフロンティア
シスメックス㈱
㈱SHIFT
ジブラルタ生命保険㈱
㈱JAL インフォテック
新日鉄ソリューションズ㈱
住友重機械工業㈱
セイコーエプソン㈱

日本プロセス㈱
日本ユニシス㈱
㈱ネクストジェン
農中情報システム㈱
㈱ノーリツ
㈱野村総合研究所
パイオニア㈱
パナソニック㈱
パナソニック㈱ AVC ネットワークス社
パナソニックコネクト㈱
バルテス㈱
ビアメカニクス㈱
ビー・シー・イー㈱



●SQiP研究会が目指す人材育成

- 単に技術を教える場ではありません。
本人が習得しただけでは組織の改善に繋がりません。
- 習得した技術を実務に適用し、課題解決するのは、
そう簡単なことではありません。
- 課題解決が出来る人を育成するために
 - **実務に応用可能なレベルまで深く指導**
→実践経験豊富な指導陣が1年間かけて、教科書レベルではないリアルな技術を指導
 - **現場を説得できる人間力を醸成**
→研究員同士で議論を交わしながら論文をまとめるなどの
試練を乗り越えてもらう

一目置かれる人材に生まれ変わるきっかけを提供

■ 研究コース：5つのコース

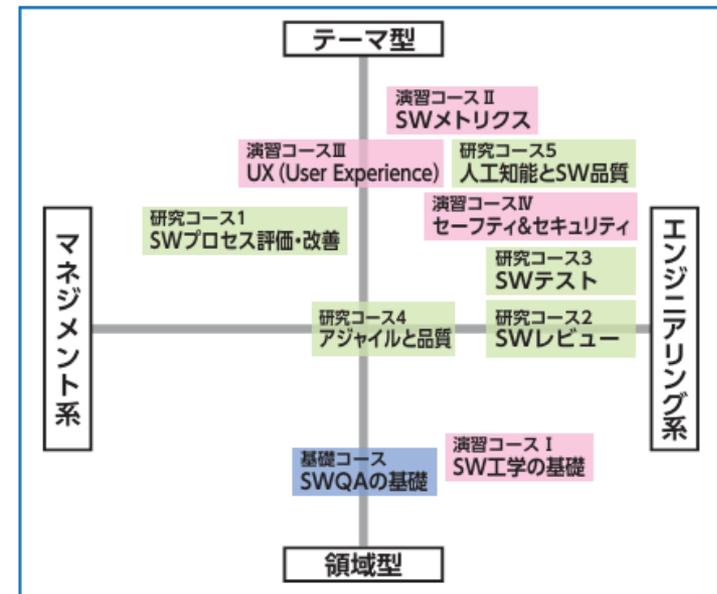
テーマに関する技術を深めるために、その進化や業務での応用実践などを目指します。最終的に活動によって得られた成果の新規性や有用性などを論文としてまとめます。

■ 演習コース：4つのコース

テーマに関する技術を確実に習得するために、演習を多くこなしながら実践的に学びます。論文執筆は必須ではありませんが、レポートをまとめてもらう場合もあります。

■ 基礎コース：1つのコース

品質技術全般の基礎を学びます。毎回各テーマの専門家による講義と、テーマに沿ったディスカッションにより理解を深めます。単に学習だけではなく、他社の取組みを知り、自社の課題を把握することができます。論文執筆はありません。



第40年度（2024年度）は、

- ハイブリッド開催（集合&オンライン）
- 1泊2日の合宿（東京近郊）
- 全体懇親会の復活
- ソフトウェア品質シンポジウム2024
- 参加者特典（7点）あり！

5. ソフトウェア品質管理研究会

(括弧内は午前特別講義テーマ) (予定)

- 5月 例会① (ソフトウェア3R)
- 6月 例会② (SaPID)
- 7月 例会③ 1泊2日の合宿 (東京近郊)
- 8月 臨時会 各コースで臨時会を実施 (予定)
- 9月 例会④ ソフトウェア品質シンポジウム
基礎コース特別例会 (前半の講義は他コースの方でも参加可能)
- 10月 例会⑤ (自動テスト)
- 11月 例会⑥ (オープンソースソフトウェア)
- 12月 例会⑦ (MLOps)
- 1月 例会⑧ (心理的安全性)
- 2月 基礎コース特別例会 (前半の講義は他コースの方でも参加可能)
- 3月 例会⑨ 成果発表会



※：その他、「論文の書き方講座」、「緊張のコントロール講座」等、研究員向けの特別講座も計画中。

～設立・活動趣旨～

日本の高い品質のものづくり文化を根底から支える品質管理や品質保証の分野において、検証結果の欠陥分析は重要な技術テーマです。旧来より品質管理において「欠陥」は、除去する対象だけでなく、品質の向上を実現する種として重要視されています。しかし欠陥分析は、日本の企業群や組織でさまざまな取り組みが行われている結果、統一された分析技法の定着を阻害しています。分析技法が標準化されていないことで、「欠陥」そのものでなく欠陥の除去技術や製品の品質評価方法などが組織の壁を越えて議論され難くなっています。これらを解決するためには、欠陥分析に関係する用語や欠陥を分類する属性を統一し、共通の言語で品質を語ることを提供することが必要です。「ODC（Orthogonal Defect Classification、直交欠陥分類）分析研究会」は、企業や組織の枠組みを超えて欠陥分析の議論や研究を行い、その成果を、ものづくりを行う企業に提供し、日本の産業界の発展に貢献して参ります。

●第6期を迎えた2024年度は、次の5つのテーマに分かれて活動を続けております！

- ◇研究テーマ1「ODC分析から最適な既存のプロセス改善手法を選択し組み合わせる研究」
- ◇研究テーマ2「ODC分析導入事例研究」
- ◇研究テーマ3「レビュー結果にODC分析を適用する研究」
- ◇研究テーマ4「ODC分析の分類精査とシグナチャー診断事例研究」
- ◇**特別テーマ「ODC分析を実践できる技術者向けトレーニングコースに対する有効性の実証実験」**

ソフトウェア
不具合改善手法
ODC分析
工程の「質」を可視化する



▼詳細はこちらから

https://www.juse.or.jp/sqip/odc_workshop/index.html



～設立・活動趣旨～

アジャイル開発においてもFour Keysなどの定量化が適用されてきており、その範囲はどんどん広がっていくと考えられます。しかし我が国ではまだあまり事例が共有されておらずどのような定量化がどのような状況に適しているのか、どのような分析技法があるのか、などの議論はほとんど行われていません。そこでアジャイルSQC研究会では、企業や組織の枠組みを超えてアジャイル開発における定量化および分析の議論や研究を行い、その成果を産学に還元することで貢献して参ります。

- 目的：アジャイル開発における定量化に関する分析技術の研究・実践および事例提供を目的とします。
- 研究テーマ：
 - ・ Four keysのようなアジャイル開発における定量化
 - ・ 平均テスト実行時間やFlakinessのようなCI/CDやDevOpsにおける定量化
- 頻度：月1度程度のクローズドな会合（オンライン）を実施しております。
- 成果の公開：定期的に、概要をRSGTやDevOpsDays、ScrumFest、SQiPシンポジウム、JaSST、不定期の無償ミートアップなどで公開する予定です。また詳細について研究会内部で共有するとともに、日科技連の有償セミナーでも公開する予定です。
- 参加費：無料
- 参加資格：
 - ・ 自社のデータや分析事例などを（匿名化などを十分施した上で）研究会に提供できるよう組織と交渉する意思のある方
 - ・ 定期的に会合に参加して議論できる方
 - ・ アジャイル開発における定量化や分析について強く興味がある方

▼参加申込はこちらから

https://www.juse.or.jp/sqip/agile_sqc/index.html



5. SQiPの人材育成・品質教育

「すべての技術者に品質技術を！」

企業（人）の問題解決や課題達成を第一に考え、ソフトウェア品質知識体系ガイド SQuBOK Guide を軸にセミナー、研究会、シンポジウム、資格試験等、幅広く事業展開。

<SQuBOK Guide 網羅範囲>

基礎・実践

●研究会：

ソフトウェア品質管理研究会
ODC分析研究会

実践（アウトプット）

●シンポジウム：

企業の成果・事例発表
相互研鑽・情報交流の場

●国際活動

基礎（インプット）

●セミナー：

品質マネジメント概論／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアメトリクス／ソフトウェアテスト／プロセス改善／要求・仕様／派生開発／アジャイル／PM・PJ等

●eラーニング／オンデマンド：

品質マネジメント概論／ソフトウェア品質技術／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアテスト／アジャイル開発・マネジメント

評価（アウトプット）

資格試験

…知識・技術の適格性の証明

5. ソフトウェア品質シンポジウム

各事業での人材育成を通じて、研究成果や各社に適用、
アウトプットした内容を本シンポジウムや他学会で発表中！

A1-1【経験論文】：ODC分析研究会

「レビュー品質の可視化にむけたODC分析の応用」

●登壇者：武田 匡広 氏

オリンパスメディカルシステムズ株式会社



A2-1【経験論文】：ソフトウェア品質管理研究会

「技術開発現場の課題分析なしで改善施策の期待効果を
広範囲で抽出する「改善効果探索マップ」の提案」

●登壇者：池永 直樹 氏

株式会社デンソークリエイト



A3-4【経験発表】：アジャイルSQC研究部会

「自動テストのプラクティスを効果的に学ぶためのカードゲーム」

●登壇者：山口 鉄平 氏

日科技連 アジャイルSQC研究部会



各事業での人材育成を通じて、研究成果や各社に適用、
アウトプットした内容を本シンポジウムや他学会で発表中！

A4-1【経験論文】：ソフトウェア品質管理研究会

「生成AIを活用したテストパターン

マトリックスを用いたテスト観点漏れ低減の提案」

●登壇者：田口 真義 氏

リコーITソリューションズ株式会社



A4-2【経験論文】：ソフトウェア品質管理研究会

「生成AIを活用した探索的テストの学習基盤の構築」

●登壇者：飯沼 真一 氏

株式会社AGEST



B3-4【経験論文】：ソフトウェア品質管理研究会

「ソフトウェアレビューにおける生成AI活用の研究」

●登壇者：北里 竜 氏

ブライシス株式会社



コミュニティ活動「ソフトウェア品質保証プロフェッショナルの会」の活動をサポート、研究成果や書籍を発行中！

C4-1【活動紹介】：

「ソフトウェア品質保証プロフェッショナルの会活動紹介」

●登壇者：牟田 香奈 氏 オリックス銀行株式会社／本会企画委員

C4-2【活動紹介】

「CXQLを組織として回す

～“学習するチーム”による継続的な価値提供～」

●登壇者：滝 若葉 氏 SCSK株式会社



C4-3【経験論文】

「失敗から学んだノウハウを有効活用できる組織にするには

～ソフトウェア品質向上のための生成AI活用法の考察～」

●登壇者：津久井 秀樹 氏 キヤノンメディカルシステムズ株式会社



コミュニティ活動「ソフトウェア品質保証プロフェッショナルの会」の活動をサポート、研究成果や書籍を発行中！



- 著者：
日科技連 ソフトウェア品質保証
プロフェッショナルの会 編
- 定価：3,300円（本体3,000円＋税）
- 判型：A5
- 頁：216頁
- ISBN：978-4-274-23230-5
- 発売日：2024/09/18
- 発行元：オーム社

本シンポジウムの配付資料内に購入割引申込書を配付中！

この機会にぜひご購入ください！

URL : <https://www.ohmsha.co.jp/book/9784274232305/>

5. SQiPの人材育成・品質教育

「すべての技術者に品質技術を！」

企業（人）の問題解決や課題達成を第一に考え、ソフトウェア品質知識体系ガイド SQuBOK Guide を軸にセミナー、研究会、シンポジウム、資格試験等、幅広く事業展開。

<SQuBOK Guide 網羅範囲>

基礎・実践

●研究会：

ソフトウェア品質管理研究会
ODC分析研究会

実践（アウトプット）

●シンポジウム：

企業の成果・事例発表
相互研鑽・情報交流の場

●国際活動

基礎（インプット）

●セミナー：

品質マネジメント概論／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアメトリクス／ソフトウェアテスト／プロセス改善／要求・仕様／派生開発／アジャイル／PM・PJ等

●eラーニング／オンデマンド：

品質マネジメント概論／ソフトウェア品質技術／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアテスト／アジャイル開発・マネジメント

評価（アウトプット）

資格試験

…知識・技術の適格性の証明

5. ソフトウェア品質技術者資格認定制度 日科技連

<ソフトウェア品質技術者資格認定制度（JCSQE）>

- 企業の皆さんが、正しい知識・技術（SQuBOK、セミナー、研究会）を身に付け、
- 研究・技術の実践（実務、研究会）をし、
- 世の中に広く発信（シンポジウム、国際活動）をし、
- 評価、証明の一つとして、「ソフトウェア品質技術者資格認定制度」を設けている。

▽本資格認定の目的：

- ・本制度は、すべてのソフトウェア技術者に品質技術を身につけ、実践していくことによりソフトウェア品質の向上を実現すること

▽本資格認定の対象：

- ・品質保証部門のみならず、ソフトウェア開発者、テストエンジニアなどソフトウェア品質に携わるすべての方々

▽本資格認定の構成：

- ・初級、中級、上級の3段階により構成。
初級試験は年2回、中級試験は年1回と定期的に実施。
上級試験については今後新設予定。

▽本資格認定の実績：

受験者数は延べ、初級は約12,536名、中級は約2,516名！
初級有資格者：4,863名、中級有資格者：337名となっている。
(2024/9/2現在)



5. ソフトウェア品質技術者資格認定制度 日科技連

●ここ数回の受験者／組織の傾向…

◆初級試験の合格率が50%を超えております！

→第30回（2023年6月）：**52.5%**、第31回（2023年11月）：**55.7%**
第32回（2024年6月）：**53.5%**

→各社で先端技術を駆使し、開発することはもちろん、何より、会社として「人」「技術者」育成に力を注いでいる企業が増えてきている！

→「**リスキリング**」の場面として、活用！（個人／会社の両面）

◆中堅・若手技術者の育成の場としての有効活用！

→受験者平均年齢が40代前半から30代後半に！

→固有技術の知識取得・深耕の他、**普遍的な品質管理技術**の習得を目指される企業が増加（＝知識の伝承）

5. ソフトウェア品質技術者資格認定制度 日本科学技術連盟

●ここ数回の受験者／組織の傾向…

◆風土改革の一助として、本試験を活用！

- 昨今の品質不正・不祥事、データ改ざんなど、改めて風土・文化の醸成のために本試験を活用している企業が増加！
- インセンティブとして、受験料の会社負担、資格取得後の手当や昇進・昇格の要件に入れている企業が増加！



「品質管理」を通じて、技術者／組織を強化する！

「品質」にしっかりと取り組めば、組織は賢く、強く、幸せになれる！

5. ソフトウェア品質技術者資格認定制度 日科技連

◆ 学習方法 :

- ✓ [ソフトウェア品質知識体系ガイド – SQuBOK Guide – 第3版](#)
- ✓ [初級ソフトウェア品質技術者資格試験 \(JCSQE\) 問題と解説【第3版】](#)
- ✓ [ソフトウェア品質技術者初級セミナー 他 ソフトウェア品質研修](#)
- ✓ [ソフトウェア品質資格試験 過去の出題解説問題](#)
- ✓ [ソフトウェア品質向上プラットフォーム「Qbook」 : テス友](#)



◆ 導入企業の声・合格者の声 :

● 当社では社内資格制度の必要条件としてJCSQEを指定し、スペシャリストの育成を目指しています！

当社では、グループ企業を含めて「NEC・サーティファイド・プロフェッショナル」(NCP) という資格制度を展開しています。NCPでは、「ソフトウェアアーキテクト」や「プロジェクトマネージャー」など、弊社のビジネスを遂行するために・・・。

● ソフトウェア品質を担保できる技術者であることを客観的に示す本資格の資格取得の推進！

厳しい競争環境に打ち勝つ競争力を確保するため、個人の技能と業務遂行能力のより一層の向上を目指し、社員のあるべき姿として「一人称で品質保証が出来ること」を目指して社員育成に取り組んでいます。弊社では・・・。

● 品質技術者をプロフェッショナルに！

弊社では過去 TQC・TQM (全社的品質管理) を導入していたこともあり、日科技連でソフトウェア品質に関する教育が始まった1980年の黎明期から、品質教育には熱心でした。そのきっかけもあり・・・

<<< その他、JCSQE導入企業による活用事例やインタビューは「[こちら](#)」をご覧ください >>>

◆ 受験申込・お問い合わせ

● 受験申込期間に、JCSQE Webサイトからお申込みください。

URL : <https://www.juse.jp/jcsqe/schedule/>

● お問い合わせ先 :

一般財団法人日本科学技術連盟 品質経営推進センター 品質経営・SQiP・MSグループ

ソフトウェア品質技術者資格認定制度 (JCSQE) 担当

TEL : 03-5378-9813 E-mail : sqip@juse.or.jp Webサイト : <https://www.juse.or.jp/sqip/>

◆ NECグループ
◆ TIS・インテックグループ
◆ キヤノングループ
◆ NTTグループ
他、組込みソフトウェア企業等
社内計画への導入企業年々増加中！



5. ソフトウェアテスト技術者資格

JSTQB
Foundation Level (PBT)

企業単位でのお申込み
好評受付中です！



詳しくはお問い合わせ下さい。
juse-query@juse.or.jp

企業単位受験のメリット

- 開催日が決まっているため目標設定しやすい！
- 計画的な学習が可能！
- 企業の教育担当者様へ合否を直接通知！
- 受験会場の指定が可能！

企業のニーズが年々増加中！

企業／個人の
レベルアップを計画的に！

■ 開催形式：

- ・ 2022年10月～：**CBT（コンピュータ・ベースド・テストイング）**
- ・ 2023年 8月～：**PBT（ペーパー・ベースド・テストイング）**
 - (1) [個人向けPBT](#)（2024年5月/7月/9月/11月/2025年1月）
 - (2) [企業向けPBT](#)（企業様のご都合に合わせて、随時受付・実施中）

※新シラバス「ISTQBテスト技術者資格制度 Foundation Level シラバス 日本語版 Version 2023 V4.0.J02」は2024年11月試験から適用となります。

■ 開催地域：

◇ CBT：全国のテストセンター

URL：https://www.pearsonvue.co.jp/Documents/Japan-Downloads/TC_List/pvue_jp_TC_all.aspx

◇ PBT：

- (1) [個人向けPBT](#)：日科技連・東高円寺ビル／大阪事務所
- (2) [企業向けPBT](#)：ご担当者様と相談の上、実施いたします。

■ 試験料：22,000円（税込）

5. ソフトウェアテスト技術者資格

ISTQB/JSTQBの最新動向 CTFL2023シラバス無料講演会 開催のご案内

- 日 時：2024年10月2日（水）18:30～19:30（予定）
- 実施形態：オンライン（Zoom）開催
- アクセス情報：
 - 申込後に届く自動返信メールでご確認ください。
- プログラム（予定）
 - 18:30-18:35：開講挨拶／事務連絡
 - 18:35-19:15：【講演】ISTQB/JSTQBの最新動向について
 - 19:15-19:25：質疑応答
 - 19:25-19:30：CBT試験／PBT試験のご案内
- 講 師：
湯本 剛 氏（株式会社ytte Lab 代表取締役）
- 申 込：<https://fofa.jp/juse/a.p/300/>



5. ソフトウェアテスト技術者資格



■ 講師／登壇者：

- 湯本 剛 氏（株式会社ytte Lab 代表取締役）
- JSTQB技術委員
- ISO/IEC/JTC1/SC7/WG26幹事

<経歴>

ソフトハウスにてテストエンジニア、テストチームリーダー、大規模開発プロジェクトのテストマネージャーなどの経験をした後、現在は、クラウドサービスのQAエンジニア／テストプロセス改善のコンサルティングを行う。

<その他活動>

- 「現場の仕事がバリバリ進むソフトウェアテスト手法」 [著書]
- 「ソフトウェアテスト教科書JSTQB Foundation」 [著書]
- 「TPI NEXTビジネス主導のテストプロセス改善」 [翻訳]
- 日科技連セミナー、ベンダーセミナーなど [講師]



(1) SQiPの基本理念／顧客ニーズに適応した事業展開

- 品質にしっかりと取り組めば、組織は賢く、強く、幸せになれる
- 企業（人）の問題解決、課題達成のための事業継続

(2) 専門団体、企業との更なる連携・協業・共創（協創）

- 長きにわたり、企業（人）に寄り添って、品質教育を実施
- 管理技術（経営・マネジメント・開発を含む）の重要性
- 自社のコア技術（固有技術）と管理技術の二輪走行

(3) 顧客価値創造、品質を中核とした事業展開

- デジタル化時代に伴う事業変革
- モノづくりからコトづくりへ コトづくりからモノづくりへ
- 品質の意義：
狭義（ものの出来栄え）ではなく、広義（社会や顧客のニーズを満たす度合い）

(4) 人材確保・人材育成

- 製品・サービスの多様化に伴う、適切な人材確保、教育・育成
- デジタル人材、データサイエンティストの教育・育成

等々

<品質経営・TQM>

- 全社的品質管理、階層別教育（役員、部課長、係長・主任）を中心に、経営管理技術、方法論、失敗学や品質不正防止、SSM等の未然防止関連等、幅広く実施。

▼詳細はこちら：

<https://www.juse.or.jp/src/seminar/result.php?c=38>



<マネジメントシステム（MS）>

- ISO規格：QMS、EMS、ISMS、FSMS、IATFの要求事項解説、詳細解説、内部監査員、情報セキュリティ、監査員検定対策講座等、多岐にわたって実施。

▼詳細はこちら：

<https://www.juse.or.jp/src/seminar/result.php?c=44>



<カスタマイズ研修（社内研修）>

- 企業のニーズ、問題や課題に応じて、内容、開催日程、日時、取り上げる演習題材等、企業の担当者との打ち合わせを踏まえ、独自の内容（カスタマイズ）で実施。当財団で実施していないテーマ・内容でもご相談をいただければ検討・調整・実施が可能。また、独自のオンデマンド教育の作成も可能。

▼詳細はこちら：

https://www.juse.or.jp/service_solution/lecture/



<品質経営・TQM>

●方針管理セミナー 実践コース

URL : <https://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/29337>

●事業創造セミナー（仮称）

URL : 準備中（2025年2月開催予定）

●失敗学フォーラム（仮称）

URL : 準備中（2024年度下期開催予定）

<SQiP>

●ソフトウェア品質向上のための生成AI活用・実践セミナー（仮称）

URL : 準備中（2024年12月開催予定）

<マネジメントシステム（MS）>

●1日で学べる！ISO 9001 内部監査のワンランクアップコース

URL : <https://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/29278>

●APQP第3版・コントロールプラン第1版 差分解説コース

URL : <https://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/29339>

●JRCA承認 ISO 9000 審査員研修コース

URL : <https://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/29130>

ご質問などは下記までお願いします。

一般財団法人日本科学技術連盟
品質経営推進センター 品質経営・SQiP・MSグループ

- 品質経営：tqmsemi@juse.or.jp
- SQiP：sqip@juse.or.jp
- MS：iso-kensyu@juse.or.jp

— 品質経営で明るい未来を創る —